

「私にとっての2020年」の原稿

ホリブンナンクン・クラチャト

タイトル

「帰国出来ないのに幸せなのは、何故だろう。」

スピーチ

2020年と言えば、コロナウイルスの広がりを考えなくてははいけませんね。そのため、世界中の人々の生活が変わりました。日本にも皆さんは、平日に8時間から10時間にかけて会社で努めたり、電車に乗ったりする代わりに、家で仕事をしたり、家族と食事を摂ったりするようになりました。皆さんは自分の計画通り進まなくて、残念な思いをしたかもしれません。でも、自分の家族といる時間が増え、逆に良かったのではないのでしょうか。

安全のため、独りで日本に住んでいる多くの外国人や留学生は、休みの間に帰国が出来ませんでした。ですから、いつでもホームシックが起きてしまいます。私も航空券をキャンセルして、タイに帰れなくなってもう1年になりました。でも、日本にずっといるうちに、私と先生や親友との関係は更に親密になりました。特に、山口さんです。

山口さんは親友に紹介してもらった友達です。山口さんは私をよく素敵な和食店に連れて行って、昼ご飯をごちそうしてくれます。私が野菜をちょっとしか食べないと、山口さんは笑いながら「子供みたいよ、野菜も食べなさい」と言います。その言葉で私はいつもびっくりするけれど、ちょっと幸せな気分にもなります。母の声のように聞こえますから。

私の誕生日に、山口のママはマスクポーチを買ってくれました。マスクポーチには私の大好きなスヌーピーの絵が書いてあります。私にとって、とても価値のあるものです。外でいつでもこのマスクポーチを使って、マスクが汚れないようにします。それだけではなく、何度マスクポーチを見ると、私に親切にしてくれるママのことを思い出します。このように、私は帰国出来ないのにまだ幸せなのです。

コロナウイルスのため、生活のすべてが変わってしまい、困難な状況になっています。でも、「災い転じて福となす」と思い、楽しく生活しています。もちろん、そんな中でも皆さんはずっと自分の家族を思っているはずで。私もそうです。

(ご清聴ありがとうございました。)